

令和4年度 学校経営の基本方針

京都市立高倉小学校

学校教育目標

よりよい生き方を求めて 誇りをもち 未来にはばたく高倉の子
～豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

学校として育成を目指す資質・能力 「主体性」 「コミュニケーション力」

★めざす学校像

信頼と勢いのある健やかな学びをつくる学校をめざして
～夢・希望・笑顔のあふれる学校に～

- 一人一人がわかる授業づくり・・・・・・・・・・確かな学力
- 一人一人が安心して過ごせる学級づくり・・・・豊かな心
- 一人一人が健やかに育つ学校づくり・・・・・・健やかな体

★めざす子ども像「高倉の子」

- すすんで学びよく考えよく話す子
- 思いやりのあるやさしい子
- 自分からすすんで行動する子
- 命を大切にし心や身体をきたえる子

★めざす教職員像

- いつも積極的に主体的に学ぼうとする姿勢
- いつも相手意識をもって人を大切にする感性
- 新たな知や価値観を創造し続ける能力
- かけがえのない命と一生を大切に育む精神

「自ら学び 自ら律する 子どもたちに」(主体性と社会性) [京都市「学校教育の重点」]

※ 学校教育目標を受けて学年・学級目標に反映させる。

1 経営理念

<学校経営方針>

- ◆子ども一人一人に丁寧にかかわり、一人一人の未来を考え大切に育てる。(児童の人権と個性の尊重)
- ◆子どもも、教職員もめあてをもって一日の中で充実感・達成感を味わい、感謝の気持ちをもつ。
- ◆全教職員が教育課題を共有し、めざす学校教育目標を達成する協同体制がはかれる組織運営をはかる。
(システムの構築)

- ・校務分掌の組織に準じてホウ(報告) レン(連絡) ソウ(相談) を日常化する。
- ・スピード・パワー・ハート 日常的な主体者意識と危機管理意識と即日解決

- ◆一人一人が新しい教育の取組に関心を持ち積極的にかかわる。

「高倉の子どもたちに何か与えられることはないか」

- ◆保護者や地域とのさらなる連携をはかり、学校に愛着をもち、自ら信頼を築こうとする。
 - ・OGGT小中一貫 中京もえぎ幼保プロジェクト、堀川高校SSH、京都大学
 - ・家庭との連携
 - ・地域との関係 高倉会(7学区自治連合会)、スマイル21プラン委員会(学校運営協議会)

※ 五者(子ども・教職員・保護者・地域住民・行政)でつくる学校